

NADPZ

October Newsletter



校舎用レンガの準備と基礎造りの 始まり

以前のニュースレターの中で、マンボウ女性農民組合（MAWOFA）のコミュニティスクールPTAの努力と献身について紹介しました。現在学校には4つの教室しかなく、5先生の生徒達は組合ホールで授業を受けています。

PTAは、20,000個の粘土レンガを作成し、それらを積み上げて焼き上げる準備が完了しました。また、2つの新しい教室の基礎造りが始められました。

来年には皆さんに新しい教室の写真をお見せできることを願っています。そしてこの学校により多くの生徒を迎えることを楽しみにしています。



次の栽培シーズンに向けての 準備

2021年も終わりに近づいているとは驚くべきことです。この年の終わりとともに、ザンビアでは雨季を迎えます。今年は例年よりも早くからより忙しくなっているように感じます。

農民たちは、新しい植え付けシーズンに向けて畑を準備し始めています。家族全員（男性、女性、子供）がトウモロコシ畑の清掃と耕作に積極的に参加します。

ごく一部の農民は、ハイブリッド種子や肥料などの投入物にアクセスできる政府の会費を支払うことができますが、ほとんどの小規模農家はこれらの投入物にアクセスするための資金を持っていません。ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）のメンバーは、この資金がなかったことがきっかけで、自然農法を使用してトウモロコシを栽培することを選択しました。結果として過去15年間、自然農法により、干ばつなどの最悪の状況下にあっても家族を養うための作物を収穫できるようになりました。

NADPZは毎年9月と10月に、すべての協同組合センターで自然農法のトレーニングセッションを開催しています。これらの自然農法教室は、選出されたトレーナーによって組織および管理されます。デモンストレーション農家は、収穫量を上げるための植え付け準備と畑の管理について実践的な研修の場を提供します。トレーナーはまた、畑管理、マルチング、および植え付け時の種子の間隔などにも焦点を当てています。

トレーニングセッションには、経験豊富な農家と新しい農家の両方が参加します。このイベントは、農家が知識や経験を互いに共有する機会にもなっています。

このセッションでは、前の栽培シーズンに自然農法種子5kgの提供を受けた農家がそれを組合に返還する機会でもあります。返還された種子は新規に参入した農家や前の収穫シーズンに種子を保存出来なかった農家、また生活に苦しんでいる農家に提供されます。この慣行は、コミュニティの参加と団結を生み出し、組合メンバー間の強力な絆と基盤を築くことに繋がっています。



家禽飼育プロジェクト

プロジェクトサイトの鶏舎がついに完成しました。産卵を目的として、ホロホロチョウと鶏を飼育する予定です。鶏の飼育と卵のビジネスを管理する方法について組合メンバーと職業訓練校の生徒たちに向けて訓練が行われます。この地域のコミュニティ獣医官が、私たちのトレーニングを支援することを申し出てくれており、プロセス全体に関与してくれます。鶏は11月末に配達されますので、これからこのプロジェクトについてさらに紹介できることを楽しみにしています。

マルチが鍵

プロジェクトマネージャーのビューティーは、枯葉を集めるために農民のエディスがプロジェクトサイトにやってくるのに気づきました。通常、プロジェクトのスタッフはこれらの乾燥した葉を掃除するのに多くの時間を要しますが、今回はエディスが自発的に掃除をし、彼女と彼女の子供たちが牛の引き車を持って来ました。ビューティーが彼女になぜ彼女が片付けを志願したのかと尋ねると、彼女は笑って答えました。「これらの葉は、適切な時期に自分の畑をマルチするために使用するので、私の畑にとっては宝物のようなものです。」

エディスの自然農法への情熱と、マルチングが成功への最も重要な鍵の1つであることを彼女がどのように学んだのかは興味あるところです。

コミュニティについて

子供たちは快適で、コミュニティの一員であると認めてもらえるのが嬉しいようです。

